

## 第7章 他ドナーの動向

### 7-1 世界銀行

#### (1) IT政策立案計画

現在フィリピンでは各省庁がアドホックでIT政策を立案しており、総合的なITポリシーがあいまいである。世界銀行では、早期にきめ細かなIT政策ロード・マップを描く必要があると認識している。2001年2月に、民間・政府・ドナー合同のワークショップを開くことを計画している。ワークショップでは政策立案計画のTOR(案)が示され、その後約6か月間にわたり調査が行われる見通しである。世界銀行は、調査段階から日本政府に期待しており、調査後の実施段階においても協力を期待している。

#### (2) 遠隔教育構想(GDLN)とJ-Netの連携の可能性

世界銀行現在、フィリピンにGDLNの拠点を置くことを検討している。AIM (Asian Institute of Management)が興味を示しているが、資金的な問題が残っている。ADBがファイナンスすることを検討している。J-Netとの協力には積極的であるが、実施機関の意向と技術的問題を吟味する必要がある。コンテンツに関しては世界銀行グループは既に多くの経験を蓄積してきており、十分協力の余地がある。

### 7-2 アジア開発銀行(ADB)

2000年8月にICTワーキンググループが設立され、IT支援政策を検討している、現在、各分野ごとに現状把握を行い政策原案を策定しており、2002年の2月ごろには完成する予定である。内容は現時点では明らかではないが、民間部門とのパートナーシップが重要視され、貧困削減や地方のデジタルデバイド解消などに力点が置かれる模様である。現在ではアドホックに各プロジェクトにおいて、ITのコンポーネントを増加させるかたちで対応している。フィリピンにおける具体的プロジェクトとしては、TESDAの遠隔教育プロジェクトのパイロットケースを支援している。また、GDLNをAIMに設置する際の資金的援助も検討している。また、IT産業開発のためのITインフラに対し融資を検討している。

### 7-3 e-ASEANタスクフォース

e-ASEANタスクフォースは1999年11月のアセアン・サミット会合において設置が決定した。議長は元フィリピン外務大臣のMr. Robert R. Romulo氏である。2000年11月のシンガポールでの会合においてe-ASEAN Agreementが各国代表者によって署名された。アセアンはラオスからシンガポールまで発展段階の違う国々が加盟しており、5億人の人口と多様な言語を有する。IT戦略や

人材育成に関しても、新規にアセアンに加盟したメンバー(ヴェトナム、ラオス、カンボディア、ミャンマー)とそれ以外の元々のメンバーの2グループに分けて検討する必要があるであろう。e-ASEANタスクフォースは始動したばかりであり、まだ人材・資金とも十分な資源があるとはいえない。ただし、限られた資源で逐次プロジェクトを開始している、アセアン・スクール・ネットワークにおいて、カンボディア、ヴェトナム、タイ、インドネシアの4か国の小学校で研修事業を行い、e-Entrepreneurshipセミナーでは、ヴェトナム、ミャンマーにおいて実施した実績がある。

#### 7-4 民間企業の援助協力

フィリピンにおいては、民間企業の政府支援が活発に行われている。サン・マイクロシステムズは1,400万ドル相当のソフトウェアをDTIに寄付した。さらに、DTIがハードウェアを増加させれば、サン・マイクロシステムズは更なる無償ソフトウェアを供給するとしている。また、エストラダ大統領が米国訪問の際、ビルゲイツは、1,200万ドル相当のソフトウェアの寄贈を約束した。さらに、マイクロソフトは、インテルとともに公立高校の教師1,000名のトレーニングプログラムを計画している。インテルは、1名の教師につき1台のパソコンを寄贈する(教育省カウンターパート)。このように民間ベースの協力は大規模かつ活発である。

## 第8章 我が国の協力の方向性

### 8-1 協力の基本的考え方(団長所感)

#### (1) 政策環境

全般的なIT政策としては、情報技術・電子商取引協議会(ITECC)及びIT関連主要省庁(NEDA、DOST、DTI等)の主導の下、IT21及びISP.COM等の政策的指針が定められているが、これら政策を個別プロジェクトのレベルに具体化していくための計画が今後は必要である。同様の問題意識を有する世界銀行は、フィリピン産官学及びドナーを巻き込んでIT政策の具体化を図る一種のロードマップを策定するべく、2月にワークショップを開催してロードマップのT/Rの提示を含めたIT政策の具体化に向けた取り進め方について関係者間の問題意識の共有を図り、その後6か月程度をかけてロードマップを作成していく方針である。

世界銀行事務所よりも我が国の協力につき要請越したが、IT分野の協力をリードしている世界銀行との関係もあり、我が国にとって望ましい政策環境の形成に向けてかかる議論に積極的に参画していくことが必要と思われる。

こうした世界銀行の動きに加え、現下の政治的混乱によりDOST長官等、IT政策を推進するキーパーソンが辞意を表明していることや、DTC次官によればITECCが政府として優先するITプロジェクトリストを2月にも策定する見込みであることなどを勘案すれば、フィリピンにおけるIT分野のプロジェクトレベルにおける具体的な方向性が判明することは今しばらく時間を要するであろう。

#### (2) 協力の基本的方向性

- 1) ITを経済発展の起爆剤としようとの問題意識は浸透しているものの、もっぱら国際的な格差解消(先進国へのキャッチアップ)が主眼であり、国内的な格差解消(地方部の底上げ等)には関心が薄いのが実情である。また、ITは民間主導との基本方針の下、政府が民間のイニシアティブに大いに期待している一方、民間は政府に過大な期待を抱いていないこともフィリピンにおける政策環境の特徴としてあげられる。
- 2) かかる現状を踏まえれば、ITをめぐる政策環境の先行きに不透明な要素はあるものの、今後のODAによる協力の可能性としては、IT活用に向けた環境整備(人材育成、政策・制度支援等)や政府のIT化(e-Government)に当面重点が置かれるべきであり、さらに加えて政府が主導するITプロジェクトに対するシンボリックな協力などにも必要とすれば配慮していくことが効果的であろう。他方、地方インフラ整備はIT分野の課題の1つでありニーズ自体は確実に存在するものの、具体的な協力についてはフィリピン政府の政策動向を踏まえて当面は慎重に対応することが適当であると思われる。

- 3) 協力に際しては、我が国との接点となる部分へのe-Government協力や在フィリピン本邦企業にも間接的に資する人材育成など我が国へも好影響をもたらすプロジェクトについても、対フィリピン経済協力政策全般の方針との整合性を踏まえつつ考慮していくことが必要である。
- 4) ITECCとの協調に意を用いることは当然であるが、政府関係省庁のなかではDOSTがウィリアルテ長官のリーダーシップの下、人材育成・研究開発等において比較優位を有しており、予算的裏づけも得て既に体系的な取り組みを開始している印象であり、同長官の去就に関心を払っていく必要はあるものの、我が国のIT協力の推進にはDOSTを中核に据えた協力を検討していくことが効率的かつ効果的と思料される。

### (3) 分野別協力の方向性

#### 1) 人材育成／政策・制度支援

##### ① IT技術者の育成

フィリピンにおける大学工学部卒業生は年間4万人にも上るうえ、英語を解することから、潜在的にIT技術者となり得る層は極めて厚いと考えられる。他方、データベース管理者やネットワークスペシャリストといった高度な技術を有する人材が不足しており、かかる高度な技術を有する人材を育成するための支援が1つのポイントとなる。

##### ② ITセンター

DOST(ICT Learning Hub：国内17か所に設置され、国際水準に達する1万人のIT技術者を育成する予定)やTESDA(IT職業訓練所)等が独自にITセンターを設立する構想を有しており、かかる各種トレーニングセンターへの支援は「顔の見える援助」との観点からも有効であると考えられるところ、J-Net構想との連携の可能性を模索しつつ協力の取り進め方を検討していくことが有益であろう。その際には、DOSTのICT Learning Hubがパイロット的に立ち上げられた2か所のセンターにおいて具体的な活動を開始しており、ほかのプロジェクトと比して構想の具体化が進行していることから、我が国の協力のターゲットの1つとして検討していくことが望ましいと考える。

##### ③ J-Net構想

人材育成の拠点としてのJ-Net構想については基本的には歓迎されており、日本側におけるコンセプトの具体化や現地におけるカウンターパートの選定などの実質的な作業を進めていく必要がある。なお、世界銀行のGDLNによるITセンターは実質的にはADBが立ち上げ、世界銀行自体はコンテンツの提供などソフト面の協力を主として行う模様である。

#### ④ 近隣地域の人材育成拠点

潜在的なIT技術者層の存在や英語能力などの比較優位を有するフィリピンは、アセアンにおける1つのIT拠点となり得る可能性を秘めていることから、第三国研修の拠点として今後活用していくことが望ましい。e-ASEANタスクフォース事務局及びコロボ・プラン・カレッジからの第三国研修の要請を踏まえて今回協議を行ったが、人材育成拠点としての役割を担う強い意欲と明確な問題意識が看取されたところ、来年度実施案件として進めていくことを具申する。

#### ⑤ IT意識の向上

DOSTの推進Mobile IT Project(コンピューター17台を積み込んだバスを各Provinceに1台、計15台配置して地方部の小中学校を巡回訪問するもの)やDTIの実施するパソコン配布事業(5,000の高校にパソコンを配布する事業)等IT awarenessの向上に資する案件への支援要請がなされたところ、モニタリングなどの問題がクリアできれば足の速い協力として検討に値するプロジェクトともなり得る可能性がある。

#### ⑥ 政策／制度支援

包括的なIT政策・制度については既に成立しつつあるが、個別具体的なIT政策・制度の構築に向けた支援のニーズは依然存在するものと考えられる。10月よりDOTCにハイレベルの政策アドバイザーがJICAより派遣されているところ、同アドバイザーの全般的な情報収集の結果を踏まえて協力の可能性を検討することが適当である。

### 2) インフラ整備等

インフラ分野における主要な課題は、地方部におけるインフラ整備の遅れと事業者間のネットワーク接続の問題であるが、電子通信網整備については民間に委ねるとというのが政府の基本方針であることから、かかる分野への協力可能性は現段階では高いものとは考えられない。むしろ、現時点で実現可能なインフラ分野における協力としては、政府自体のe-Government化に向けた協力や政府の主導するITプロジェクトに対する協力などがあげられる。

#### ① 政府自体のe-Government化に向けた協力

e-Governmentの推進はガバナンスの向上や経済活動の効率化を通じてフィリピンのみならず我が国へも幅広い裨益効果を有することから、ODAによる支援可能分野として取り組みむことは有意義なものと考えられる。GISPに基づいてNEDAにて作成されつつある具体的なプロジェクトリストを踏まえ、航空保安システムや気象情報システム等の既に要請されている案件を含めて前向きに検討していきたい。

#### ② 政府の主導するITプロジェクトに対する協力

DOTCによればITECCレベルでIT分野の優先プロジェクトリストが2月にも公表され

る見込みであることから、協力プロジェクトの特定は時期尚早のきらいもあるが、基地転換庁が推進している経済特区の性格を有するボニファシオITパーク構想は、フィリピンにおけるITハブ、ワンストップ・サービスの拠点として機能することが期待されており、象徴的なIT案件として位置づけられる可能性を秘めた案件でもあることから、我が国としても協力の可能性を模索していくべきであろう。政策対話ミッションに続き今次調査団に対してもシンソン長官自らが詳細なブリーフを行うなど、我が国に対する期待も強いものと考えられる。現在日本貿易振興会によるフィージビリティスタディが進行中であるが、追加的なフィージビリティスタディなど技術協力やITパーク関連のシンボリックなプロジェクトへの協力の可能性を前向きに検討していくことは有意義なものと考えられる。

### 3) 産業振興

ITを経済発展の起爆剤とするとの意識はフィリピン国内で広く共有されており、今後の産業振興の核として考えられていく可能性は高い。既にIT21やISP.COMといった国家的戦略の下、2000年6月には電子商取引法も整備されるなどIT関連産業振興に向けた政策的・法的整備は整いつつある。また、ITパークについても開発規制緩和が導入されており、ボニファシアITパーク以外にも民間主導のITパークが複数開発されているなど、IT産業振興に向けた環境整備も進みつつある。具体的な案件形成には、更なる調査の結果を待つ必要があるが、当面はIT関連産業を下支えする人材育成や経済活動を効率化するe-Governmentへの支援を通じて産業振興に向けた環境整備を行いつつ、現在比較的単純労働が主となっている付加価値を高めるべく、デザイン能力やソフトウェアの作成能力の向上に向けた支援を検討していくことが必要であろう。

8-2 現状の課題と我が国の協力の方向性

| 項目                     | 現状の課題  | 協力の方向性  |
|------------------------|--|---|
| 制度<br>政策<br>支援         | <ul style="list-style-type: none"> <li>IT21 及び ISP.COM なる政策的指針あり。</li> <li>個別プロジェクトの計画が今後は必要。(DOTC によれば ITECC レベルで IT 分野の優先プロジェクトが今年の 2 月にも公表される見込みであったが、政権交代の影響により優先プロジェクトリストは公表されていない。)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>世界銀行が IT 政策の具体化を図る一種のロードマップを策定するべく、今年の 6 月までにワークショップを数回開催し、後 6 か月程度をかけてロードマップを作成していく方針。</li> <li>我が国としても、我が国にとって望ましい政策環境の形成に向けて、かかる議論に積極的に参画していくことが必要。</li> <li>DOTC の政策アドバイザーの情報収集結果を踏まえて協力の可能性を検討することが適当。</li> </ul>   |
| 人<br>材<br>育<br>成       | <ul style="list-style-type: none"> <li>フィリピン潜在的な IT 技術者層の存在や英語能力等の比較優位を有するが、データベース管理者やネットワークスペシャリストといった高度な技術を有する人材が不足。</li> <li>DOST (ICT Learning Hub : 国内 17 か所に設置され、国際水準に達する 1 万人の IT 技術者を育成予定) や TESDA (IT 職業訓練所) 等が独自に IT センターを設立する構想を有している。</li> <li>DOST は Mobile IT Project (コンピューター 17 台を積み込んだバスを各 Province に 1 台、計 15 台配置して地方部の小中学校を巡回訪問) を推進中。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>DOST の ICT Learning Hub がパイロット的に立ち上げられた 2 か所のセンターにおいて具体的な活動を開始しており、協力の可能性について継続的に検討したい。</li> <li>Mobile IT Project に関しては、モニタリング等の問題がクリアできれば足の早い協力として検討に値するプロジェクトともなり得るので、協力の可能性について継続的に検討したい。</li> <li>フィリピンを IT 関連の第三国研修の拠点の 1 つとして今後活用していくことが望ましい (e-ASEAN タスクフォース事務局、コロンボ・プラン・カレッジからの第三国研修の要請あり)。<br/>(第三国研修)<br/>→ 来年度第三国研修「e-Commerce 起業家育成」(e-ASEAN タスクフォース事務局) を実施予定。</li> <li>J-Net 構想については、フィリピン側より基本的に歓迎されており、拠点としてはフィリピン大学、NCC、JICA フィリピン事務所等の可能性あり (詳細設計調査団)。</li> </ul> |
| イン<br>フラ<br>整備         | <ul style="list-style-type: none"> <li>主要な課題は、地方部におけるインフラ整備の遅れと事業者間のネットワーク接続の問題。ただし、電気通信網整備については民間に委ねるとというのが政府の基本方針。</li> <li>DTI はパソコン配布事業 (5,000 の高校にパソコンを配布する事業) を実施中。<br/>→ 見返り資金無償資金協力にて 1,000 校分を対応予定。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>政府自体の e-Government 化に向けた協力 (次世代航空保安システム等) の可能性あり。<br/>(開発調査)<br/>→ 来年度開発調査「次世代航空保安システム建設事業連携実施設計調査」(DOTC) を実施予定。</li> </ul>  |
| IT<br>利<br>用<br>技<br>術 | <ul style="list-style-type: none"> <li>政府の電子化に関しては、電子政府化計画 (GISP) を基に推進予定。</li> <li>BCDA が推進している経済特区の性格を有するポニファシオ IT パーク構想に関しては、JETRO による F/S が進行中。</li> <li>産業振興に関しては、IT を経済発展の起爆剤として、今後の産業振興の核となることをフィリピン政府は期待している。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>政府の電子化に関しては、NEDA が作成中の具体的なプロジェクトリストを踏まえ、前向きに検討したい。</li> <li>ポニファシオ IT パーク構想に関しては、JBIC 事業化を図るにあたって追加的 F/S 等技術協力やシンボリックなプロジェクト (ワンストップサービス等) への協力の可能性を前向きに検討していきたい。<br/>(開発調査)<br/>→ 来年度開発調査「中小企業開発計画」の実施検討。</li> <li>産業振興に関しては、当面 IT 関連産業を下支えする人材育成、投資振興、e-Government への支援を通じて産業振興に向けた環境整備を行いつつ、中小企業における IT 利用の拡大、デザイン能力やソフトウェアの作成能力の向上に向けた支援を検討していきたい。</li> <li>(開発調査)<br/>→ 来年度開発調査「中小企業開発計画」の実施検討。</li> </ul>  |

### 8-3 協力候補案件概要

#### (1) 政策・制度づくり

|       |  |
|-------|--|
| 案件名   | 中小企業開発計画   |
| 協力方法  | 専門家派遣  |
| 実施機関  | 中小企業ビジネス開発庁<br>(Bureau of Small and Medium Business Development:BSMBD)   |
| 背景、現状 | BSMBDにて、SME 振興施策が企画・実施される。同庁では、SME 振興を効果的に行うため、日本の支援を求めている。  |
| TOR   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去及び現在実施中の中小企業振興策及び各種プログラムのレビュー</li> <li>・ 周辺諸国との比較検証</li> <li>・ 中小企業振興のための政府介入分野の特定</li> <li>・ 関連政府機関の中小企業にかかわる規則、行政手続きなどのレビュー並びに改善勧告</li> <li>・ 提言の実行にあたっての指導・助言</li> </ul> |
| 開始時期  | 2001年4月  |
| 期 間   | 2年間  |
| 備 考   | フィリピンでは、中小企業 (SME) 数は 24 万 3,487 (製造及びサービス部門以外を含めると 50 万以上) であり、全体の企業数の 99% を占める。またその多くは零細企業 (総資産 1,500 万ペソ未満) となっており、フィリピンにとって SME 振興は愁眉の課題である。SME 振興については日本の過去の経験とノウハウに関する技術移転が期待されている。                              |

|       |   |
|-------|---|
| 案件名   | 中小企業開発計画  |
| 協力方法  | 開発調査  |
| 実施機関  | 中小企業ビジネス開発庁<br>(Bureau of Small and Medium Business Development: BSMBD)   |
| 背景、現状 | BSMBDにて、SME 振興施策が企画・実施される。同庁では、SME 振興を効果的に行うため、日本の支援を求めている。   |
| TOR   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国家開発目標とそのなかでの中小企業振興の位置づけについてレビューする</li> <li>・ 中小企業の置かれている経営環境及びこれまでの実績</li> <li>・ 中小企業にかかわる問題、振興ビジョン、開発ニーズ、克服すべき課題</li> <li>・ 技術開発/移転、金融、マーケティング、人材開発、情報アクセスなどの分野について、既存の政策及び戦略を総点検、分析する。</li> <li>・ 中小企業振興マスタープランの策定</li> </ul> |
| 開始時期  |   |
| 期 間   | 6か月間  |
| 備 考   | フィリピンでは、中小企業 (SME) 数は 24 万 3,487 (製造及びサービス部門以外を含めると 50 万以上) であり、全体の企業数の 99% を占める。またその多くは零細企業 (総資産 1,500 万ペソ未満) となっており、フィリピンにとって SME 振興は愁眉の課題である。SME 振興については日本の過去の経験とノウハウに関する技術移転が期待されている。   |



(2) 人材育成

|       |  |
|-------|--|
| 案件名   | フィリピン国及びアジア太平洋地域における教育・アグロインダストリー開発のための情報通信強化計画 (Urgent Upgrading of Communication and Information Technology for Education and Sustainable, Agro-Industrial Development in the Philippines and Asia/South Pacific Region) |
| 協力方法  | 無償資金協力   |
| 実施機関  | フィリピン 大学ロスバニョス校  |
| 背景、現状 | フィリピン大学ロスバニョス校ではラジオ放送を通じた遠隔教育を行っているが、現行使用している機材は 1979 年に世界銀行の支援で購入したものである。機材は丁寧にメンテナンスされているが大変古く緊急なアップグレードが必要である。  |
| TOR   | CDC (College of Development Communication) 及び ICS (Institute of Computer Science) の既存のマルチメディア関連機器・装置のアップグレード及び一部施設改修。具体的には Radio-DZLB (大学のラジオ放送) 設備のアップグレード、マルチメディア実験室のアップグレード、情報技術支援サービス、オーディオビジュアル車両、サービス車両、部屋のリノベーション   |
| 開始時期  | N/A  |
| 期 間   | N/A  |
| 備 考   | 本協力により地方への波及効果 (ラジオを利用した遠隔教育など) が期待できることから、地方におけるデジタルデバイド解消に有効と考えられる。また今までのメンテナンスの実績があるので、持続性には問題はない。ただし、提案書のオリジナルは 1998 年に作成されており、度重なるリバイスを行っているため内容については詳細に再検討する必要がある。   |

|       |  |
|-------|--|
| 案件名   | インターネットを利用した指導教材の開発 (Design and Development of Web Based Instructional Materials)  |
| 協力方法  | 第三国研修  |
| 実施機関  | コロンボ・プラン・スタッフ・カレッジ (Colombo Plan Staff College for Technical Education: CPSC)  |
| 背景、現状 | コロンボ・プラン・スタッフ・カレッジは IT 分野で人材育成を行っている教育機関である。現在、国際機関や途上国機関を対象とし様々な IT 研修を実施している。JICA に対しても第三国研修の要請が提出された。マニラの郊外に位置し、必要なファシリティ (教室・宿泊施設、コンピューター関連設備など) も完備しているので、アクセスもよい。                        |
| TOR   | 研修内容は以下のとおり。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット研修と教育への活用</li> <li>・マルチメディア技術</li> <li>・マルチメディアツールの利用</li> <li>・ウェブのデザイン</li> <li>・コースウェアと教材の開発</li> <li>・バーチャルキャンパス</li> </ul> |
| 開始時期  | 2002 年   |
| 期 間   | 3 年間   |
| 備 考   | 小規模ながら十分なキャパシティを有しており、経験も豊富である。各国 2 名ずつ参加し、17 か国から参加を募るとしているが、対象国の選定、プログラムの内容などは吟味する必要がある。   |

|       |   |
|-------|---|
| 案件名   | 電子商取引起業家人材育成プログラム (e-Entrepreneurship training Program)   |
| 協力方法  | 第三国研修   |
| 実施機関  | e-ASEAN Taskforce   |
| 背景、現状 | e-ASEAN タスクフォースは、ASEAN 経済大臣会合の同意に基づいて設立された機関である。インフラ、e-Commerce、e-Government、e-Society HRD、市場グループなどのワーキンググループがあり、様々な IT 化促進のためのプロジェクトを推進している。「電子商取引起業家育成 (e-Entrepreneurship training Program)」は人材育成プロジェクトの1つであり、第三国研修の要請がある。本プロジェクトは NEDA 採択済みで、JICA に要請中である。プロジェクト全体は2つのコンポーネントに分かれ、1つは Java 言語能力開発 (Java Competency Project) であり、もう1つは CLMV 諸国に対する e-Commerce 起業家育成である。先に、ヴィエトナムとミャンマーで、1日のセミナーを開いたところ大変盛況であったという。講師とプログラムはオラクル、IBM、AIM などから調達し、設備は NCC を利用する計画である。日本に対しては M-Commerce (Mobile Commerce) の分野において講師の派遣の要請があった。 |
| TOR   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子商取引の基礎概</li> <li>・インターネットを利用したビジネス</li> <li>・ビジネスにおける電子戦略</li> <li>・電子商取引に関する法律</li> </ul>  |
| 開始時期  | 2001年   |
| 期 間   | 5年間   |
| 備 考   | 本プロジェクトは新アセアン加盟国に対する南南協力強化の観点からも、大変効果的であると思われる。また起業家の代表者の人材育成を行い、研修を受けた人材は帰国後さらなる技術移転を行うことを期待しているため、波及効果が高いと考えられる。  |

|       |   |
|-------|---|
| 案件名   | 学術ネットワーク支援プロジェクト (仮称)   |
| 協力方法  | 円借款、プロジェクト方式技術協力等   |
| 実施機関  | 科学技術省、ASTI (Advanced Science and Technology Institute)  |
| 背景、現状 | 「学術ネットワーク」(Broadband Network) は政府、民間、大学が一体となって遂行しているプロジェクトであり、目的はブロードバンドのネットワークを国内及び海外と構築し、研究や教育その他の IT 利用に役立てることにある。現在、フェーズ1が進行中で3つのアクセスポイントが設立された。フェーズ2ではさらにネットワークを広げ海外ともネットワークを築き、IT 利用においてもアプリケーションの開発を行うとしている。 |
| TOR   | IT 利用として予定しているのは、遠隔教育、電子図書館、政府ネットワーク、遠隔医療、環境モニタリング、専門家の育成、産学共同研究などである。プロジェクトの推進には技術的問題と資金的な問題がある。技術的問題解決のためには、コンテンツ開発のためのプロジェクト方式技術協力、開発調査、専門家の派遣などが考えられる。支援内容は現状分析、実行可能な計画の策定、パイロットプロジェクトの実施、インフラの供与などであろう。        |
| 開始時期  | N/A   |
| 期 間   | N/A   |
| 備 考   | プロジェクトのコンセプトは素晴らしいが、実施は様々な困難に直面しているように思われる。フェーズ2 (2000年～) の予算は確保されておらず、政府のコミットメントも得られていない。また民間通信キャリアとの折衝が合意に至らず、ネットワークが確保されていない。コンテンツの開発も遅れており、今後の課題となる。包括的な支援策の検討が必要であるように思われる。                                    |

|       |   |
|-------|---|
| 案件名   | モバイル IT クラスルーム支援プロジェクト (仮称)   |
| 協力方法  | 無償資金協力、JOCV 派遣  |
| 実施機関  | 科学技術省、SEI (Science Education Institute)   |
| 背景、現状 | <p>モバイル IT クラスルーム (MITC) は IT 機材 (コンピューター・ビデオ・プロジェクターなど) を積んだバスで地方の小学校を訪問し、学生及び教員に IT を利用した教育機会を与えることを目的としたプロジェクトである。</p> <p>既に IT バス 4 台を導入 (1999 年 1 台、2000 年 3 台) し、試験的に教育を実施している。パイロットプロジェクトは成功裡に行われており、今後の拡張の可能性も大きい。最終的には各州 (Region) に 1 台、合計 16 台を確保したいと考えている。</p>                                     |
| TOR   | <p><u>無償資金協力</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モバイルバス、パソコン、その他の必要機材の供与</li> </ul> <p><u>JOCV 派遣</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修内容の検討とコンテンツの開発</li> <li>・ネットワークの設置など技術開発</li> <li>・IT バスの技術的問題に対する相談</li> <li>・プロジェクトへの参加と評価</li> </ul>                                       |
| 開始時期  | N/A   |
| 期 間   | N/A   |
| 備 考   | <p>地方と都市のデジタルデバイドの解消、地方の初等・中等教育におけるアウェアネスの向上のために、効果的なプロジェクトといえる。現在並行して教育機関にパソコンを配布するプロジェクトも推進しているが (DTI)、約 4 万校といわれる初等・中等教育機関すべてに配布するにはかなりの時間がかかるものと思われる。それまでの経過措置として同プロジェクトは有効であると考えられる。プロジェクトは開始したばかりで実績が少なく (計 4 台運行)、今後各種問題点が顕在化してくることも予想される。プロジェクトの持続性と教育内容の向上 (例えばインターネットを利用できるようにするなど) も考慮すべき点である。</p> |

(3) 情報通信基盤の整備

|       |   |
|-------|---|
| 案件名   | 緊急災害通信網拡充プロジェクト<br>(Government Emergency Telecommunication System Project Phase II: GETII)  |
| 協力方法  | 資金協力 (特別円借款)  |
| 実施機関  | 運輸通信省 (Department of Transportation and Communications: DOTC)   |
| 背景、現状 | フィリピンは火山、地震、洪水などの自然災害にしばしば見舞われているが、その都度通信回線確保が問題となっていることから JICA 無償援助による緊急通信方式 (Emergency Telecommunications System) が 1995 年 3 月に完成している。当該システムは、ハブ局を TELOF の首都圏局舎に設置し、全国主要都市 31 か所 (Government office in NCR: 3, Regional and Provincial Center: 24, Provincial Cities: 2, Calamity Area: 2) に VSAT 局 (地方 TELOF 局内に収納) を配備し、インドネシアが所有するパラパ衛星の回線 (リース: 2 回線) を使用し、非常災害時には VSAT を災害現場等に運搬して緊急通信に供されるシステムである。災害時、緊急時、選挙や APEC 会合など国家の重要な行事等において大変有効に活用されている。当該システムは有効であることから全国に拡大したいとの要望がある。 |
| TOR   | (1) 新設規模: 110 VSAT Stations (19 Government Office in NCR, 523 Provincial Capital, 3 Regional Capitals, 25 Remote is lands, etc.)89 PBAX (128 Ports Capacity), 1,883 Access Lines (Metallic Lines or Radio Links), 83 Sets of Back-up Power System<br>(2) 増設/修正: Central Satellite Station, Relocation of 23 GETSIVSAT Facilities<br>(3) 資金規模: US \$ 38. 156M (含む内貨分)  |
| 開始時期  | N/A   |
| 期 間   | 3 年   |
| 備 考   | 政府緊急通信システムの Phase 1 は JICA の無償援助で構築されその効果については好評を得ている。今回の要請は、同システム Phase 2 であり、Phase 1 及び Phase 2 によりフィリピンの当該システムは完成する。本システムは、整備の遅れているルーラル情報通信基盤を補完することにもなり得る。  |

|       |  |
|-------|--|
| 案件名   | 通信事業者間ネットワーク相互接続問題支援及び中小企業者の技術的問題支援  |
| 協力方法  | 専門家派遣  |
| 実施機関  | 運輸通信省 (Department of Transportation and Communications: DOTC)  |
| 背景、現状 | 固定電話網の通信品質を示すデータは公表されていない。しかしながら、運輸通信省が事業者間ネットワークの相互接続に問題があることを認識し、改善を行うとしていること、中小事業者の抱える技術的課題解決を支援しようとしていること、日本商工会議所も接続問題を指摘していることなどから判断して、通話完了率はあまり高くないと推定される。首都圏の通話網は、多量の電話トラヒックを処理していることから、その通話完了率の問題は地方よりも深刻であろうと推測される。また、加入者回線の故障率は日本の 7~8 倍とのことである。 |
| TOR   | 通信事業者ネットワーク相互接続問題及び中小事業者が抱える技術的課題解決支援  |
| 開始時期  | 2001 年   |
| 期 間   | 2 年間   |
| 備 考   | DOTC から本件は第 1 順位の要請である旨の表明もあり、またフィリピンの日系企業からも事業者間ネットワーク相互接続問題解決の要望も強い。案件名 "ACP (Alternative Communicational Program) への協力" の評価、所見欄を参照のこと。  |

|       |   |
|-------|---|
| 案件名   | ACP (Alternative Communications Program) への協力   |
| 協力方法  | 資金協力及び専門家派遣   |
| 実施機関  | 運輸通信省 (Department of Transportation and Communications: DOTC)   |
| 背景、現状 | 村落電話計画は、1996年10月にラモス大統領により布告された優先度の高いプロジェクトであり、PCOを村落 (Barangay) にまで拡大設置しようとした Program である。このプロジェクトは、10年間で3万1,920 (全村落の76%) の村落にPCO (カード式公衆電話及びファクシミリ) を設備し、Internet Access も可能とする) を設置するものである。この Program は経費がかかりすぎるとの理由で中断された。代わりにACPを実施することとし、Economic Coordination Committee において2000年3月に承認され、2001年早々に大統領令として配布される予定である。Municipality 及び村落への通信サービスを拡大するためのプログラムである。ACP 計画概要は次のとおりである。政府は、税制上の優遇措置、低利・長期の融資、公的金融機関の活用、免許料金優遇措置、周波数利用料金の優遇措置を民間事業者に対するインセンティブとして与えて、全国の Municipality にテレセンターを、Barangay に公衆電話を設置する計画である。 |
| TOR   | 資金協力要請<br>・約 US \$ 150M<br>・フィリピン土地銀行等の政府金融機関が円借款借り入れ機関となる。<br>専門家派遣要請<br>・ACP 実施計画の作成及び実施に伴う課題対策の支援<br>・通信事業者間ネットワーク相互接続問題及び中小事業者が抱える技術的課題解決支援   |
| 開始時期  | 2001年   |
| 期 間   | 3年間   |
| 備 考   | DOTC は ACP 関連業務支援と通信事業者間ネットワーク相互接続問題対策支援を1名の専門家に期待しているが、両業務ともかなりな業務量になることが想定される。1名の専門家で支援する場合には、例えば、相互接続業務支援を主、ACP 業務支援を従とするなどの合意が必要であろう。DOTC から本件は第1順位の要請である旨の表明もあり、またフィリピンの日系企業からも事業者間ネットワーク相互接続問題解決の要望も強い。(案件名“通信事業者間ネットワーク相互接続問題支援及び中小事業者間の技術的問題支援 参照)  |

|       |  |
|-------|--|
| 案件名   | 通信・放送の融合に関するマスタープラン作成の支援   |
| 協力方法  | 専門家派遣  |
| 実施機関  | 運輸通信省 (Department of Transportation and Communications: DOTC)  |
| 背景、現状 | 当該分野に関しては、1993年に策定された電気通信開発計画が最新であり、DOTC は電気通信、インターネット、情報処理、放送等を融合した情報通信開発計画マスタープランを必要としている。また IT 時代を迎えて、e-Commerce を実現するうえで情報通信基盤が具備すべき最小限の技術的条件を明確にすること、e-Governance モデルとして DOTC の進むべき方向づけをすることが求められている。 |
| TOR   | ・ e-Governance モデルとして DOTC の方向づけを勧告する。<br>・ e-Commerce に適合する情報通信基盤の技術基準について勧告する。<br>・ 通信・放送の融合に関するマスタープラン作成への支援。   |
| 開始時期  | N/A  |
| 期 間   | 6か月  |
| 備 考   | IT 関連開発計画において DOTC に期待されている業務を整理する必要がある。   |

(4) IT 活用・利用促進

|                 |   |
|-----------------|---|
| 案件名             | e-Postal  |
| 協力方法            | 資金協力及び専門家派遣   |
| 実施機関            | 運輸通信省 (Department of Transportation and Communications: DOTC)   |
| 背景、現状           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フィリピンにおいて Postal saving 及び Postal money transfer は重要性が高く、そのサービスのコンピューター化を進めている。地方ではこれらのサービスを利用する人がとても多いからである。外国で働いている人たちのフィリピンへの送金のほとんどは Postal money transfer で扱っている。</li> <li>・ 上記システムでは、Municipality の郵便局に、Computer 及び Banking terminal を装備した Postal caf を設置していく。</li> <li>・ 1996 年に実施した F/S に基づいて、自己資金 (P300M) により Central Office, National Capital Region 及び 12 Regional Office についての構築は 2000 年 10 月に終了した。</li> <li>・ 上記システムを Municipality に拡大したいが、資金 (P800M) 調達の見込みが立っていない。</li> </ul> |
| TOR             | (1) 資金協力 (P800P)<br>(2) 現在のプロジェクト評価   |
| Job Description |   |
| 開始時期            | N/A   |
| 期 間             | N/A   |
| 備 考             | 協力方法・内容について双方で整理する必要がある。  |

|       |   |
|-------|---|
| 案件名   | ICT Application のための Test-Bed Center 設立への支援   |
| 協力方法  | Hardware への支援及び専門家派遣  |
| 実施機関  | 運輸通信省 (Department of Transportation and Communications: DOTC)   |
| 背景、現状 | Test-Bed Center では、新しい ICT (Information and Communication Technology) Application を、商業化前あるいは本格実施前に試験あるいはパイロット実施を行いその評価を行う。DOTC は、Test-Bed Center 設立に向けての協力・共同作業を、通信業者、Internet Service Provider、システムや装置の Supplier、政府機関や Business 等のユーザーに要請し始めている。 |
| TOR   | 詳細不明。   |
| 開始時期  | N/A   |
| 期 間   | N/A   |
| 評価、所見 | 協力内容を明確にする必要がある。  |



## 別 添 資 料

1. 訪問機関リスト
2. 収集資料リスト





## 1. 訪問機関リスト

| 団体名  | 対応者名  | 住所  | 連絡先   |
|--|---|---|---|
| Department of Education,<br>Culture and Sports                 | Mr. Tatsuo Hoshi<br>Chief Advisor,<br>Japan International Cooperation<br>Agency   | 4 <sup>th</sup> Flr. Bonifacio Bld. University of<br>Life Complex Meralco Ave., Pasig<br>City Philippines | Telefax (632) 633-7207  |
|  | Ms. Fe A. Hidalgo, Ph. D.<br>Assistant Secretary  | UL Complex, Meralco Ave. Pasig<br>City  | Phone: (632)633-7202<br>Fax (632) 633-7231<br>Res.: (632) 912-0614<br>Cellphone: 0912-8040093<br>E-mail :<br>hidalgo@l-next.net |
|  | Ms. Angelita M. Esdicut<br>Assistant Chief , Bureau of<br>Elementary Education  | 2 <sup>nd</sup> Flr. Bonifacio Building DECS<br>Complex, Meralco, Ave. Pasig City                         | Phone: 632-1361 local 2058<br>&2173<br>Fax: 633- 7270<br>E-mail: bee@l-net.net  |
| DOTC   | Mr.Crisostomo F. Abanes,<br>Undersecretary & Chief of Staff,<br>Department of Transportation &<br>Communications                                  | Columbia Tower(17F), Ortigas Ave.,<br>Mandaluyong City 1555, Philippines                                  | Tel: 632 726-6231 Mobile:<br>0912-803-0458 Fax: 632<br>726-6233<br>e-mail: cabanes@dotc.gov.ph                                  |
|  | Ms.Aurora A. Rubio ,<br>Chief, Telecom Policy & Planning<br>Division, Department of<br>Transportation and Communications                          | 8/F Unit 89, Columbia Tower Ortigas<br>Ave., Mandaluyong City 1555<br>Philippines                         | Tel: 632 727-7139 Fax: 632<br>727-7984<br>e-mail:<br>aarubio@l-manila.com.ph  |
|  | Ms Emma E. Hizon ,<br>Director, Management Information<br>Service, Office of the Secretary,<br>Department of Transportation and<br>Communications | Unit 39, The Columbia Tower Ortigas<br>Ave., Mandaluyong City   | Tel: 663 725-0025 Fax:<br>723-8320<br>e-mail:<br>cehizon@dotcmain.gov.ph  |
|  | Mr. Shunichi Nishimoto ,<br>Telecom Policy Advisor, JICA<br>Expert, Department of<br>Transportation and<br>Communications,                        | Unit 87, 8th Floor, Columbia Tower,<br>Ortigas Ave., Mandaluyong City,<br>Metro Manila                    | Tel: 632 726-7111 Mobile:<br>0919-563-8767<br>e-mail:<br>nishimoto@l-manila.com.ph  |
|  | Mr. Ryuichi Nagai,<br>Advisor of Air Transport<br>Administration, JICA Expert, Air<br>Transportation Office                                       | 4/F Airways Navigation Service, MIA<br>Road, Pasay City 1300  | Tel: 632 759-2740 Mobile:<br>0919 563-8776 Fax: 632<br>759-2739<br>e-mail: nagai@l-manila.com.ph                                |
| DOST   | Dr. Filemon A. Uriarte, Jr. ,<br>Secretary, Department of Science<br>and Technology   | Gen. Santos Ave., Bicutan, Taguig,<br>Metro Manila  | Tel: 632 837-2939, 837-2071 to<br>82(TL)Local2000&2500 Fax:<br>632 837-2937<br>e-mail: fau@dost.gov.ph                          |
|  | Dr. Rogelio A. Pantasigui,<br>Undersecretary for Research &<br>Development, Department of<br>Science and Technology                               | Gen. Santos Ave., Bicutan, Taguig,<br>Metro Manila  | Tel/Fax: 632 837-2930,<br>837-2943<br>e-mail: rap@sun1.dost.gov.ph  |
|  | Dr. Delfin Jay M. Sabido IX,<br>Director, Advanced Science and<br>Technology Institute, Department of<br>Science and Technology                   | ASTI Bldg., UP Technology Park C.P.<br>Garcia Ave., Diliman 1101 Quezon<br>City, Philippines              | Tel: 632 435-1057 Fax: 632<br>435-1052<br>e-mail: jayix@asti.dost.gov.ph  |
|  | Ms Myrna I. Consolacion,<br>Deputy Executive Director,<br>Philippine Science High School<br>System, Department of Science and<br>Technology       | PSHS Diliman Campus Agham Road<br>Diliman, Quezon City  | Tel: 2 924-0639, 924-0684<br>Fax: 2 926-3137<br>e-mail: mic@pshs.edu.ph,<br>mymacon@info.com.ph                                 |
|  | Mr. Glen L. Sipin, Special Assistant,<br>Information and Communications<br>Technology(ICT), Department of<br>Science & Technology                 | Gen. Santos Ave., Bicutan, Taguig,<br>Metro Manila  | Tel: 632 837-2071<br>loc.2007/2215, 837-7531<br>Mobile: 0917 812-1315<br>e-mail: gls@gham.dost.gov.ph                           |
|  | Mr. Alexander A. Lim,<br>PCASTRD  | Gen. Santos Ave., Bicutan, Taguig,<br>Metro Manila  |   |
|  | Mr. Rufino C. Lirag Jr.,<br>Undersecretary  | Gen. Santos Ave., Bicutan, Taguig,<br>Metro Manila  |   |
|  | Mr. Emma R. Pasafiengio,<br>SEI   | Gen. Santos Ave., Bicutan, Taguig,<br>Metro Manila  |   |
| Mr. Poel A. Sancho,<br>Office of the Undersecretary for<br>R&D | Gen. Santos Ave., Bicutan, Taguig,<br>Metro Manila  |   |   |

| 団体名   | 対応者名   | 住所  | 連絡先   |
|---|--|---|---|
| SEI (Science Education Institute) with Philippine Science High School System / DOST | Ester B. Ogena, Ph. D.<br>(Director)   | 3/F PTRI Bldg. Gen Santos Ave.<br>Bicutan, Taguig, Metro Manila   | Callin:(632) 837-13-59<br>Phone:(632) 837-20-71 to 89<br>(ex. 2380)<br>Fax: (632) 837-19-24<br>E-mail: ebo@sei.dost.gov.ph  |
|   | Filma G. Brawner, Ph. D.<br>(Deputy Director)  | 3/F PTRI Bldg. Gen Santos Ave.<br>Bicutan, Taguig, Metro Manila   | Callin: (632) 839-02-41<br>E-mail: fgb@sei.dost.gov.ph  |
|   | Violeta N. Arciaga, Ph. D.<br>(Chief)  | 3/F PTRI Bldg. Gen Santos Ave.<br>Bicutan, Taguig, Metro Manila   | Cellphone: 0919-367-0731<br>E-mail: vna@sei.dost.gov.ph   |
|   | Myrna I. Consolacion<br>(Deputy Executive Director /<br>Philippine Science High School<br>System)  | PSHS Diliman Campus<br>Agham Road<br>Diliman, Quezon City   | Phone: (02) 924-06-39 / 84<br>Fax: (02) 926-31-37<br>E-mail: mic@pshs.edu.ph<br>E-mail:<br>myrnacon@info.com.ph   |
| Technical Education and Skills Development Authority (TESDA)                        | Ms Rexie D. Argonza ,<br>Sr. TESDA Specialist, International<br>Development Finance Office,<br>Technical Education and Skills<br>Development Authority (TESDA)       | 7/F TESDA Administration Building<br>TESDA Complex, East Service Road,<br>South Superhighway, Taguig, Metro<br>Manila   | Tel: 632 893-2128<br>e-mail: rargonza@hotmail.com   |
|   | Mr. Charles C. Dery, Sr. TESDA<br>Specialist, International<br>Development Finance Office,<br>Technical Education and Skills<br>Development Authority (TESDA)        | 7/F TESDA Administration Building<br>TESDA Complex, East Service Road,<br>South Superhighway, Taguig, Metro<br>Manila   | Tel: 632 893-2128<br>e-mail: ccdtesda@yahoo.com   |
|   | Mr. Alexander P. Tolentino, Sr.<br>TESDA Specialist, International<br>Development Finance Office,<br>Technical Education and Skills<br>Development Authority (TESDA) | 7/F TESDA Administration Building<br>TESDA Complex, East Service Road,<br>South Superhighway, Taguig, Metro<br>Manila   | Tel: 632 893-2128<br>e-mail:<br>aptolentino@hotmail.com   |
|   | Ms MA. Evelyn I. Gazo ,<br>Chief, Information Technology<br>Officer, Manpower Information<br>System Division, Planning Office,<br>TESDA                              | TESDA Administration Building<br>TESDA Complex, East Service Road,<br>South Superhighway, Taguig, Metro<br>Manila   |   |
|   | Ms Luz DG. Galang ,<br>Officer-in-charge Information<br>Technology Center, NCTESD,<br>NITUET, TESDA  | TESDA Administration Building<br>TESDA Complex, East Service Road,<br>South Superhighway, Taguig, Metro<br>Manila   |   |
|   | Ms. Alexander P. Tolentino<br>Sr. TESDA Specialist   | International Development Finance<br>Office<br>7 <sup>th</sup> /F TESDA Administration Bldg.<br>TESDA Complex, East Service<br>Road South Super Highway Taguig<br>Metro Manila, Philippines   | Telefax: (632) 893-2128<br>E-mail:<br>aptolentino@hotmail.com   |
|   | Ms. Lourdest Reyes<br>Director, International Dev't<br>Finance Office  | International Development Finance<br>Office<br>7 <sup>th</sup> /F TESDA Administration Bldg.<br>TESDA Complex, East Service<br>Road South Super Highway Taguig<br>Metro Manila, Philippines   | Phone: 893 2128   |
| Colombo Plan Staff<br>College for Technician<br>Education                           | Dr. Shyamal Majumdar<br>Chairman   | Office Address: Bldg. Blk. C DECS<br>Complex Meralco Ave., Pasig City<br>Metro Manila Philippines<br>Mailing Address: P.O. Box 7500<br>DAPO NAIA, Pasay City 1300<br>Metro Manila Philippines | Phone: (632)631-0991-95<br>Website:<br><a href="http://www.cpse.org.ph">http://www.cpse.org.ph</a><br>Fax: (632) 631-0996<br>E-mail: <a href="mailto:cpse@skynet.net">cpse@skynet.net</a><br><a href="mailto:Smajumdar@cpse.org.com">Smajumdar@cpse.org.com</a> |
| The World Bank Office,  | Mr. Vinay Bhargava<br>Country Director, Philippines  | 23 <sup>rd</sup> /F, The Taipan Place Emerald<br>Ave., Ortigas Center Pasig City<br>Philippines   | Phone; (632)<br>917-3001/637-5855<br>Fax (632) 637-5850<br>E-mail:<br><a href="mailto:vbhargava@worldbank.org">vbhargava@worldbank.org</a>  |
|   | Mr. Bei S. Zonaga<br>Program Officer   | 23 <sup>rd</sup> /F, The Taipan Place Emerald<br>Ave., Ortigas Center Pasig City<br>Philippines   | Phone: (632)917-3004<br>Fax: (632)637-5870  |
| International Finance<br>Corporation  | Mr. Vipul C. Prakash<br>Country Manager Philippines  | 11 <sup>th</sup> /F, Tower One, Ayala Triangle<br>Ayala Ave., Makati City 1200<br>Philippines   | Phone: (632)848-7333<br>Fax: (632)848-7339<br>E-mail: <a href="mailto:vprakash@ifc.org">vprakash@ifc.org</a><br><a href="http://www.ifc.org">www.ifc.org</a>  |

| 団体名  | 対応者名  | 住所  | 連絡先  |
|--|---|---|--|
| e-Asean Task Force   | Ms. Victoria L. Tinio<br>Project Director   | 8/F Equitable Card Center<br>203 Salcedo Street Legaspi Village<br>Makati City 1229 Philippines   | Phone:( 632) 810-1204<br>Fax: (632) 843-1999<br>Mobile: (63918)531-5846<br>E-mail:<br><a href="mailto:vtinio@equitable.equicom.com">vtinio@equitable.equicom.com</a> , <a href="http://www.e-aseantf.org">http://www.e-aseantf.org</a>   |
|  | Mr. Emmanuel C. Lallana, PhD<br>Executive Director  | 8/F Equitable Card Center<br>203 Salcedo Street Legaspi Village<br>Makati City 1229 Philippines   | Phone: (632)810-4444<br>Fax: (632) 843-1999<br>Mobile: (0917)529-8694<br>E-mail: <a href="mailto:eclallana@fit-ed.org">eclallana@fit-ed.org</a><br>URL: <a href="http://www.e-aseantf.org">www.e-aseantf.org</a>   |
| University of the Philippines Los Baños  | Mr. Manuel D. Punzal Ph. D.<br>Commissioner, Office of the President                      | DAP Building, San Miguel Ave.<br>Ortigas Center Pasig City  | Phone: 636-1693/<br>633-1926<br>Fax: 635-5829  |
|  | Ms. Maria Celeste H. Cadiz, PhD<br>Dean and Associate Professor                           | College of Development<br>Communication 4031 College,<br>Laguna Philippines   | Phone; (63)(49) 536-2511<br>loc.203<br>Fax: (63)(49)536-3356<br>E-mail:<br><a href="mailto:mch@mudspring.uplb.edu.ph">mch@mudspring.uplb.edu.ph</a><br><a href="mailto:e.mariaceleste@malcity.com">e.mariaceleste@malcity.com</a>  |
|  | Mr. Felino P. Lansingan,<br>Ph. D.<br>Professor and Vice-Chancellor                       | Office of the Vice-Chancellor for<br>Research and Extension<br>2 <sup>nd</sup> Flr. Admin.Bldg.<br>UPLB College , Laguna,<br>Philippines 4031 | Phone: (049) 536-2354<br>Fax: (049) 536-3454<br>E-mail:<br><a href="mailto:fp@instant.uplb.edu.ph">fp@instant.uplb.edu.ph</a><br><a href="mailto:Oycere@admi.uplb.edu.ph">Oycere@admi.uplb.edu.ph</a>  |
| Makati Sky Plaza, Inc.<br>(Itochu Corporation)   | 倉智 正則 (President)<br>鈴木 翔三 (マニラ支店長)   | 16 <sup>th</sup> Floor, 6788 Ayala Avenue<br>Oledan Square, Makaty City   | Phone: (632) 886 6788<br>Fax: (632)886 6813/6815<br>email:<br><a href="mailto:skyplaza@pacific.net.ph">skyplaza@pacific.net.ph</a>   |
| South Asian Ministers of Education Organization (SEAMEO) INNOTECH                                | Dr. Erlinda C. Pefianco<br>Director   | Commonwealth Ave., Diliman<br>Quezon City, 1101 Philippines   | Phone: (632) 928-7348<br>Fax: (632) 921-0224<br>E-mail:<br><a href="mailto:Linda@seameo-innotech.org">Linda@seameo-innotech.org</a><br>: <a href="mailto:ecpefianco@yahoo.com">ecpefianco@yahoo.com</a><br>URL : <a href="http://www.innotech.org">http://www.innotech.org</a> |
|  | Ms. Pricilla G. Cabanatan<br>Program Director for Information & Communications Technology | Commonwealth Ave., U.P. Diliman,<br>Quezon City, Metro Manila<br>Philippines  | Phone: 924-7681 to 84<br>Fax: (632)926-4476<br>Cellphone:0917-5345509<br>E-mail: <a href="mailto:ching@seameo-innotech.org">ching@seameo-innotech.org</a><br>:Priscilla_cabanatan@hotmail.com  |
| IRTC (Integrated Research and Training Center)/ TUP (Technological University of the Philippine) | Radames M. Doctor, MNSA<br>(Senior Vice-President)  | 5 Orchids, South Greenheight<br>Muntinlupa  | Phone: 521-40-69   |
|  | Josefino P. Gascon<br>(Vice President)  | Ayala Blvd.,<br>cor. San Marcelino St.,<br>P.O. Box 3171 Ermita, Manila   | Phone / Fax: 632-523-6015<br>Email: <a href="mailto:gascon@tup.edu.ph">gascon@tup.edu.ph</a>   |
|  | Perla S. Roxas<br>(Vice President)  | Ayala Blvd.,<br>cor. San Marcelino St.,<br>P.O. Box 3171 Ermita, Manila   | Phone: 521-4062 / 521-4086<br>Phone: 521-4065 / 522-3524<br>Fax:521-4062 /<br>632-522-3524<br>Cellphone: 0915-702-8740   |
|  | Nenet C. Graza<br>(Professor)   | Ayala Blvd.,<br>cor. San Marcelino St.,<br>P.O. Box 3171 Ermita, Manila   | Phone: 522-3524 / 521-4086<br>Fax: 521-4062 / 522-3524<br>E-mail: <a href="mailto:nenetg@yahoo.com">nenetg@yahoo.com</a>   |
|  | Loreto G. Aguila<br>(Associate Professor)   | Ayala Blvd.,<br>cor. San Marcelino St.,<br>P.O. Box 3171 Ermita, Manila   | Phone: 521-4062 / 521-4086<br>Fax: 521-4062 / 522-3524   |
| Asian Development Bank   | Mr. Yasushi Hirosato<br>Education Specialist  | Education, Health & Population<br>Division (West)6 ADB Ave.,<br>Mandaluyong City P.O. Box 789,<br>0980 Manila, Phils.                         | Phone: (632) 632-5958<br>Fax: (632) 636-2310<br>E-mail: <a href="mailto:yhirosato@adb.org">yhirosato@adb.org</a><br>ADB web site: <a href="http://www.adb.org">www.adb.org</a>   |
| NTC (National Telecommunications Commission)   | Nestor C. Dacanay<br>(Deputy Commissioner)  | BIR Road, East Triangle<br>Diliman, Quezon City   | Phone: (632) 924-4037<br>Fax: (632) 924-3749<br>E-mail:<br><a href="mailto:nedacanay@ntc.gov.ph">nedacanay@ntc.gov.ph</a>  |

| 団体名  | 対応者名   | 住所   | 連絡先   |
|--|--|--|---|
| PLEDT<br>(Philippine Long Distance Telephone Company)                                | Taketo Suzuki<br>(Board Director)  | 6/F Ramon Cojuangco Building<br>Makati Avenue, Makati City   | Phone:(632)816-8841 /<br>816-8686<br>Fax: (632)812-9603<br>Cellphone: 0918-900-0498                       |
|  | Takashi Togawa<br>(Chief IT Advisor)   | 9/F PLDT MGO Building<br>Legaspi cor. M. Dela Rosa St.,<br>Makati City   | Phone: (632)810-9499<br>Fax: (632)844-5211<br>E-mail:<br>ttogawa@pldt.com.ph                              |
| Fijitsu  | Mr. Yasuhiro Hara  | 2F United Life Bldg, 837 Amaiz<br>Ave., Legaspi Village, Makati City<br>1229, Philippines                            | Phone: (632) 637 9118<br>Fax: (632) 637 9123  |
|  | Mr.Naito   | LV Loecin Buiding,<br>Ayala Ave. Cor. Makati Ave.<br>Makati City, Philippines  | Phone: (632) 818 8594<br>Fax: (632) 818 8602  |
|  | Mr. Norio Uehara   | 2F United Life Bldg, 837 Amaiz<br>Ave., Legaspi Village, Makati City<br>1229, Philippines                            | Phone: (632) 894 8506<br>Fax: (632) 817 7576  |
| 中小企業ビジネス開発<br>庁:<br>BSMBD: Bureau for Small<br>and<br>Medium Business<br>Development | Mr. Jerry T. Clavesillas<br>(Assistant Director)                             | 3 <sup>rd</sup> Floor, OPPEN Building 349<br>Sen. Gil J. Puyat Avenue<br>Makati City 1200 Philippines                | Phone: (632)890 5333 loc.<br>324<br>Fax: (632) 896 7916<br>E-mail:jclavesillas@hotmail.<br>com            |
| PCHC: Philippine Clearing<br>House Corporation                                       | Mr. Francisco V. Yarp, Jr.<br>(President of PCHS)                            | Unit 9C, 9 <sup>th</sup> Floor Trafalgar<br>Plaza H. V. Dela Costa St.,<br>Salcedo Vill. Makati City,<br>Philippines | Phone: 814 0340<br>Fax: 848 3748<br>E-mail:<br>frankyap@pche.com.ph                                       |
|  | Juan G. Coreccs<br>(Director – Treasurer of PCHS)                            | Unit 9C, 9 <sup>th</sup> Floor Trafalgar<br>Plaza H. V. Dela Costa St.,<br>Salcedo Vill. Makati City,<br>Philippines | Phone: 814 0340<br>Fax: 848 2781  |
| Marubeni   | Mr. Yusaku Nemoto,<br>General Manager  | LV Loecin Buiding,<br>Ayala Ave. Cor. Makati Ave.<br>Makati City, Philippines  | Phone: (632) 818 0211<br>Fax: (632) 818 8602  |
|  | Mr. Hirokazu Yamakawa,<br>General Manager                                    | LV Loecin Buiding,<br>Ayala Ave. Cor. Makati Ave.<br>Makati City, Philippines  | Phone: (632) 818 8594<br>Fax: (632) 818 8602  |
| COMSYS Philippines, Inc.   | Yoshio Iwase<br>(Division Manager)   | #3 Economia Cor. Industria Sts.<br>Brgy. Bagumbayan, Area 17<br>Murphy, Quezon City                                  | Callin: 438-0545<br>Phone: 636-0115<br>Phone / Fax: 637-9365<br>Fax: 637-9365<br>Cellphone: 0917-527-7429 |
| Sumitomo Corporation   | Mr. Atsuhiko Miki  | 2F United Life Bldg, 837 Amaiz<br>Ave., Legaspi Village, Makati City<br>1229, Philippines                            | Phone: (632) 894 8541<br>Fax: (632) 817 7576  |
|  | Mr. Koji Hishida<br>Department Manager                                       | 10 F BPI Building<br>Ayala Avenue cor Paseo de Roxas,<br>Kakati Citi   | Phone: (632) 810 0351<br>Fax: (632) 818 8168  |
| CIAP<br>(Construction Industry<br>Authority of the<br>Philippines)                   | Rene E. Fajardo<br>(Chier TIDS)  | 2/F, Jupiter I Bldg.,<br>56 Jupiter St., Bel-Air Vill.,<br>Makati City   | Phone: (632)895-4258<br>Fax: (632)895-4255<br>E-mail: pcab@info.com.ph                                    |
|  | Lilian G. Salonga<br>(Research and information)                              | 4 <sup>th</sup> Floor, Jupiter I Bldg.,<br>56 Jupiter St., Bel-Air Vill.,<br>Makati City                             | Phone:(632)895-6826 /<br>897-8814<br>Fax: (632) 897-9336<br>E-mail:<br>ciapinfonet@pdx.rpnet.com          |
|  | Kathrin Josephine Tajon-Dela<br>Cruz   | 4 <sup>th</sup> Floor, Jupiter I Bldg.,<br>56 Jupiter St., Bel-Air Vill.,<br>Makati City                             | Phone:(632)895-4424 /<br>897-9313<br>Fax: (632) 897-9336<br>E-mail: kte@info.com.ph                       |
|  | Uhio Nagashima<br>(JICA Expert)  | 4 <sup>th</sup> Floor, Jupiter I Bldg.,<br>56 Jupiter St., Bel-Air Vill.,<br>Makati City                             | Phone: 02-895-6826<br>Fax: 02-897-9336<br>Cellphone: 0917-810-4121  |
| National Economic and<br>Development Authority<br>(NEDA)                             | Dany F. Pabellon<br>Director<br>Information Technology<br>Coordination Staff | NEDA Building Amber Avenue,<br>Pasig City  | Phone:(632)631-3279/01<br>Fax: (632) 635-4794<br>E-mail:<br>dfpabellon@neda.gov.ph                        |
| Prime Global Solutions Inc.  | Takeo Yamamoto<br>Vice President - Treasurer                                 | 23 <sup>rd</sup> Flr. Unit D Chatham House,<br>116 Herrera Corner Velero Streets<br>Salcedo Village, Makati City     | Phone:+63(2)887-1301<br>Fax: +63(2)887-1302<br>E-mail:<br>t.yamamoto@pgs.com.ph                           |

| 団体名  | 対応者名   | 住所  | 連絡先   |
|--|--|---|---|
| Board of Investment  | Florina A. Vistal<br>Director<br>Engineering Industries<br>Department                                | Industry & Investment Bldg.<br>385 Sen. Gil J. Puyat Avenue<br>City of Makati                                     | Phone: 895-8212<br>Fax: 897-3080<br>E-mail:<br>boing@mnl.sequel.net                         |
| Department of Trade and Industry (DTI)                                     | Cecilia A. Camba<br>Director<br>Office of Operational Planning                                       | 6/F Trade & Industry Building<br>361 Sen. Gil J. Puyat Avenue<br>City of Makati                                   | Phone: (632)890-4951<br>Fax: (632)890-3516<br>E-mail: oop@dti.gov.ph                        |
|  | Jerry T. Clavesillas<br>Assistant Director<br>BSMBD: Bureau of Small and Medium Business Development | 3 <sup>rd</sup> Floor, OPPEN Building<br>349 Sen. Gil J. Puyat Avenue<br>City of Makati                           | Phone: (632)890-5333<br>Fax: (632)896-7916<br>E-mail:<br>jclavesillas@hotmail.com           |
| National Computer Center (NCC)   | Ramon Ike Villareal Seneres<br>Director General  | Carlos P. Garcia Ave. UP<br>Diliman, Queen City   | Phone: 920-7420/920-0101<br>Fax: 920-7444<br>E-mail: records@ncc.gov.ph                     |
| Bases Conversion Development Authority (BCDA)                              | Rogelio L. Singson<br>Chairman and President   | BCDA Coporate Center, Gozar<br>corner Lucas Sts.<br>Villamor Air Base, Pasay City                                 | Phone: 551-3006 to 12<br>Fax: 510-0414  |
| Philippine Computer Society (PCS) (Systems Standard incorporated)          | Gus Lagman<br>Chairman & CEO   | Republic Glass Building,<br>Salcedo cor. Aquirre Sts.<br>Lagasaki Village, Makati City                            | Phone: (632)817-8477<br>Fax: (632)817-8635<br>E-mail:<br>guslagmn@globe.com.ph              |
| Philippine Software Association (PSA) (Sun Microsystems Philippines, Inc.) | Antonio Z. Pio de Roda<br>Chief Operating Officer<br>Director for Sales and Marketing                | Penthouse, Corporate Business<br>Centre 151 Paseo de Roxas corner<br>Arnaiz Ave.<br>Lagasaki Village, Makati City | Phone: (+632)751-2032<br>Fax: (+632)893-0195<br>E-mail: tonyp@sun.com.ph                    |
| Philippine Trade Training Center   | Adelaida L. inton<br>Deputy Executive Director   | PTTC Building, Sen. Gil J. Puyat<br>Ave. cor. Roxas Blvd. Pasay City  | Phone: (+632)834-1345<br>Fax: (+632)834-1343<br>E-mail: pttc@dti.gov.ph                     |
| Office of Senator Juan M. Flavier  | Rodlfo Noel S. Quimbo,<br>Chief of Staff   | 5th Floor, Senate of the Philippines,<br>GSIS Building, Financial Center,<br>Roxas Blvd, Pasay City, Philippines  | Phone : (632)552 6774, 6871<br>Fax : (632) 552 6869<br>E-mail:<br>rudyquimbo@pacific.net.ph |

## 2. 収集資料リスト

| 番号    | 資料名称   | 形態       | 種類     | 発行機関   | 取扱区分 | 図書館記入欄 |
|-------|--|----------|--------|--|------|--------|
| P04-1 | Key Philippine Policy Initiatives in Information and Communications Technology (ICT)             | A4       | 6ページ   | National Economic and Development Authority (NEDA)           |      |        |
| P07-1 | Possible Discussion Items with the Japanese IT Mission   | A4 プリント  | 3ページ   | Department of Transportation and Communication (DOTC)        |      |        |
| P07-2 | Five year Computerization Development Plan of Philpost   | A4 プリント  | 5ページ   | DOTC   |      |        |
| P08-1 | Information and Communications Technology (ICT) Programs, 05 December 2000, DOST Conference Room | A4冊子     | 25ページ  | Department of Science and Technology Institute (DOST)        |      |        |
| P09-1 | Philippine Chamber of Commerce and Industry  | B5       | 12ページ  | Philippine Chamber of Commerce and Industry (PCCI)           |      |        |
| P10-1 | (案) フィリピンIT産業発展の為に   | A4       | 5ページ   | フィリピン日本人商工会議所 (JCCI)   |      |        |
| P10-2 | フィリピンの情報通信産業の現況  | A4,A3    | 8ページ   | フィリピン日本人商工会議所 (JCCI)   |      |        |
| P11-1 | ODA Initiatives for MLSD An Overview   | A4 プリント  | 15ページ  | Technical Education and Skills Development Authority (TESDA) |      |        |
| P11-2 | Distance Learning "the wave of the future"   | A4 プリント  | 15ページ  | TESDA  |      |        |
| P11-3 | Private Education Student Financial Assistance(PESFA) Program, TESDA                             | A4 プリント  | 1ページ   | TESDA  |      |        |
| P11-4 | National Technical Education and Skills Development Plan 2000-2004, TESDEA                       | A4冊子     | 30ページ  | TESDA  |      |        |
| P11-5 | TESDA Women's Center Newsletter, January-June 2000   | A4冊子     | 11ページ  | TESDA  |      |        |
| P11-6 | Technical Education and Skills Development Authority   | A5パンフレット | 4ページ   | TESDA  |      |        |
| P11-7 | 12 PRIORITY SECTORS OF TESDA   | A4 プリント  | 1ページ   | TESDA  |      |        |
| P11-8 | TESDA , Quarterly Magazine, December 1999  | A4冊子     | 52ページ  | TESDA  |      |        |
| P12-1 | PROVISIONAL AGENDA   | A4       | 1ページ   | 貿易産業省 : Department of Trade and Industry                     |      |        |
| P12-2 | ISP.com: The Philippine e-Commerce Action Agenda   | A4       | 15ページ  | DTI  |      |        |
| P12-3 | ISP.com: The Internet Strategy for the Philippines   | A4       | 10ページ  | DTI  |      |        |
| P13-1 | Design and Development of Web Based Instructional Materials (JICA proposal)                      | A4       | オリジナル  | Colombo Plan Staff College                                   |      |        |
| P13-2 | Primer Planning Prosperity Together  | A5       | オリジナル  | Colombo Plan Staff College                                   |      |        |
| P13-3 | Catalogue of Programmes 2000-2001  | A4       | オリジナル  | Colombo Plan Staff College                                   |      |        |
| P13-4 | Capability Statement   | A4       | オリジナル  | Colombo Plan Staff College                                   |      |        |
| P13-5 | CPSC Quarterly (6月号、9月号)   | A4       | オリジナル  | Colombo Plan Staff College                                   |      |        |
| P17-1 | Pilot Project List   | A4       | コピー    | e-ASEAN Task Force   |      |        |
| P18-1 | The Bonifacio Information Technology Park  | A4       | パンフレット | BCDA/基地転換開発庁   |      |        |

| 番号    | 資料名称   | 形態      | 種類     | 発行機関  | 取扱区分 | 図書館記入欄 |
|-------|--|---------|--------|---|------|--------|
|       |  |         | ト      | 庁   |      |        |
| P23-1 | IT21 Philippines Asia's Knowledge Center   | A5 変型   | 小冊子    | 貿易産業省 :<br>Department of Trade and Industry                         |      |        |
| P24-1 | IT Education Support / Development project   |         |        | 伊藤忠商事海外建設部  |      |        |
| P24-2 | e-ASEAN 支援プロジェクトご説明資料  |         |        | 伊藤忠商事海外建設部  |      |        |
| P25-1 | Educational Leadership Training Program  | A5      | オリジナル  | INNOTECH  |      |        |
| P25-2 | Course Report  | A4      | コピー    | INNOTECH  |      |        |
| P25-3 | The TAO Vision of Information Technology   |         | オリジナル  | INNOTECH  |      |        |
| P25-4 | Innotech Journal   | A4      | オリジナル  | INNOTECH  |      |        |
| P25-5 | Innotech News Letter   | A4      | オリジナル  | INNOTECH  |      |        |
| P26-2 | Draft Of Order, Establishing a program to install a telecenter in every municipality and payphone in BARANGAYS and providing incentives to encourages private sector participation | A4 プリント | 4ページ   | Department of Transportation and Communication (DOTC)               |      |        |
| P31-1 | Education and Information Technology   | A4      | コピー    | ADB   |      |        |
| P31-2 | APEC Cyber Education Cooperation Project   | A4      | コピー    | ADB   |      |        |
| P31-3 | Information Communication Technology   | A4      | コピー    | ADB   |      |        |
| P31-4 | Proposed Small scale technical Assistance for support for Information and Communication Technology and education   | A4      | コピー    | ADB   |      |        |
| P36-1 | 富士通フィリピンズ株式会社及びその子会社概要   | A4      | コピー    | 富士通   |      |        |
| P36-2 | 富士通フィリピンズ株式会社パンフレット(英語)  | A4      | オリジナル  | 富士通   |      |        |
| P36-3 | フィリピンのIT産業及びIT施策の状況(CICC)  | A4      | コピー    | 富士通   |      |        |
| P37-1 | Who are SMEs?  | A4      | 25 ページ | 中小企業ビジネス開発庁(BSMBD: Bureau of Small and Medium Business Development) |      |        |
| P37-2 | Small and Medium Enterprise Development Policy   | A4      | 19 ページ | BSMBD   |      |        |
| P44-1 | Proposal to Dept. of Science & Technology for Information Technology Center  | A4      | オリジナル  | 住友商事  |      |        |
| P45-1 | Prospectus 2000 Philippine Trade Training Center   | A5      | 45 ページ | 比貿易訓練センター : Philippine Trade Training Center (PTTC)                 |      |        |







JICA